

記者発表(資料配布)			
月日(曜日)	担当課名	T E L	発表者名(担当係長名)
10月16日 (金)	企画県民部県民生活局 県民生活課	078-362-3996 (内線2841)	県民生活課長 岩原 直子 (参画協働・ボランティア活動支援班長 宿南ひとみ)

大規模災害ボランティアへのPCR検査の実施

大規模災害ボランティアへのPCR検査助成については、グループごとに上限1万円としておりましたが、このたび、制度の充実を図るため、派遣人数に応じた上限額に見直すとともに、災害ボランティアの自己負担額を、検査試薬代2千円のみとします。

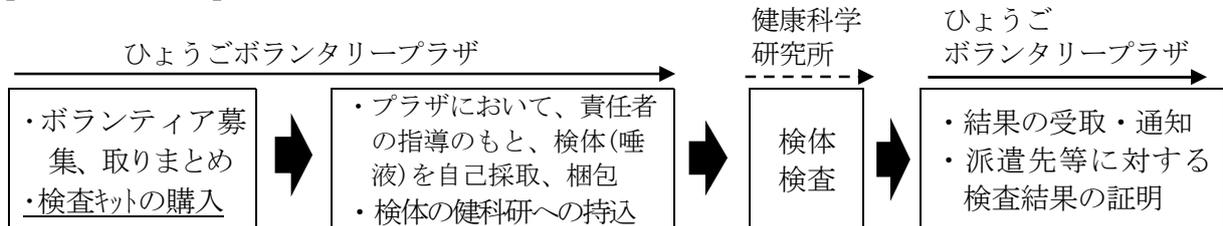
記

1 災害ボランティアに対するPCR検査の実施

※下線は見直した点

区分	内容等
対象者	ひょうごボランティアプラザが、①大規模災害発生時に緊急を要すると判断し、②被災地の災害ボランティアセンターへ派遣する災害ボランティア
実施手法	ひょうごボランティアプラザから県立健康科学研究所に検査を委託
試薬代等 検査実費の 自己負担額	一人あたり 2,000円 (試薬代等検査実費: 4,000円の1/2) <u>・検査試薬代(2,000円)のみをボランティアから徴収</u> <u>・検査キット代(2,000円)は、ひょうごボランティアプラザが購入、ボランティアに無償提供することとし、その購入費用を大規模災害ボランティア活動応援プロジェクトにより支援</u>

【実施スキーム】



2 「大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト」制度の拡充

区分	現行	拡充後
対象者		5人以上の団体・グループ
対象活動		大規模災害(激甚災害指定等)時に被災地災害ボランティアセンターを通じた被災者支援活動(被災者宅のがれき撤去、泥かき、避難所運営支援等)
対象経費	交通費、被災地での宿泊費	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費、被災地での宿泊費 ・(新)PCR検査に要する経費
助成額	上限 20万円	上限 20万円+ (@2千円×派遣人数) ①交通費、被災地での宿泊費 上限 20万円(現行どおり) ②PCR検査に要する経費 2千円×人数 (※) 試薬代等検査実費: 4,000円の1/2
助成先	ボランティアグループ	①ボランティアグループ(現行どおり) ②ひょうごボランティアプラザ
財源		ふるさとひょうご寄附金